



かみいけ♥いけほんつながり隊

地域文教部会

瓦版

No. 02

平成23年10月発行 貳号

編集・発行：かみいけ♥いけほんつながり隊
地域文教部会
事務局：豊島区教育委員会事務局
教育総務部学校施設課
☎ 3981-1143 (直通)
Eメール A0029257@city.toshima.lg.jp

<http://www.city.toshima.lg.jp/kodomo/kyouiku/8381/021810.html>

ご意見は事務局へ!

池二小
文成小
池中

池袋本町地区校舎一体型小中連携校建設についての

アンケート結果をお知らせします

かみいけ♥いけほんつながり隊地域文教部会では、平成23年度中に校舎一体型小中連携校の地域版建設構想をまとめ、豊島区長へ提言することを予定しています。

会では、多くの方のご意見をお聞きし、地域版建設構想へ反映させるため、7月に地区内の各小学校および池袋中学校の児童・生徒、保護者、教職員及び通学区域内の区民の方々を対象にアンケート調査を実施しました。

ご協力いただき、ありがとうございました。今回は、この調査結果の概要をお知らせします。

配布対象	配布数	回収数	回収率
児童・生徒 (池一小・池二小・文成小・池中)	1,138	921	81%
保護者 (池一小・池二小・文成小・池中)	985	192	19%
教職員 (池一小・池二小・文成小・池中)	101	33	33%
小計	2,224	1,146	52%
通学区域の区民 (池一小・池二小・文成小・池中)	130	23	18%
全体計	2,354	1,192	51%

※この他、インターネットによる地域からの回答10件

*****アンケート調査結果の概要*****

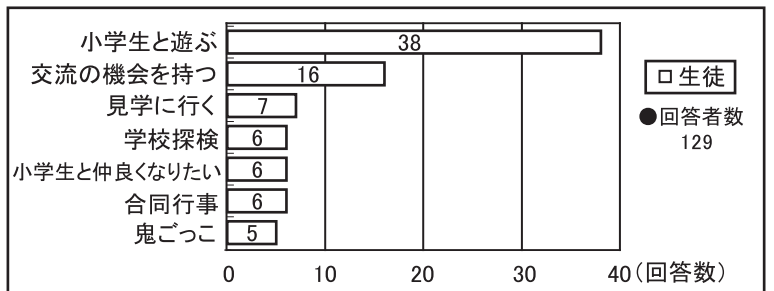
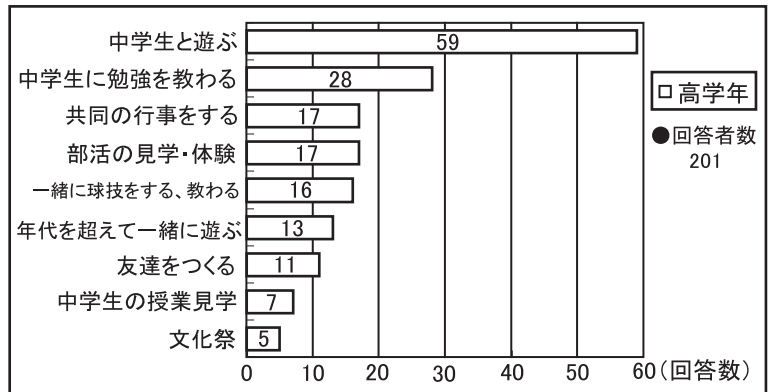
一緒に建物になったりしてみたいこと (複数回答可)

●小学生 (4～6年生のみ)

小学生は「一緒に遊ぶ」「勉強を教わる」「行事をする」「球技(サッカーや野球)をする」など、一緒に何かを行ったり、教わることに対する期待の他、「部活の見学・体験」や「授業見学」など、将来の中学校生活をイメージできる機会への期待が多い結果となっています。

●中学生

中学生も「一緒に遊ぶ」「交流の機会を持つ」「一緒に行事を行う」など、一緒に何かを行う機会への期待が高い結果となっている他、「学校探検」や「校内での鬼ごっこ」など、連携校として大きくなる校舎への関心が伺えます。



これからの学校に 新たに必要場所やもの (複数回答可)

●小学生

低学年（1～3年生）は「広い校庭」、高学年（4～6年生）は「室内プール」を一番にあげています。「広い校庭」については「サッカーと野球ができるように」「運動会で保護者が校庭に入れるように」などがあげられました。

また、「室内プール」については「雨でも入れる」「冬でも入れる」などの理由がありました。

●中学生

「冷水器」「冷暖房」「体育館の充実」などが上位にあげられています。「体育館の充実」の具体的な内容については、「もう少し広く（部活で半面しか使えない）」「第二体育館がほしい」「体育館にエアコンがほしい」などがありました。

●地域・保護者

保護者・地域ともに、「施設・設備の充実」がもっとも多く、具体的には、「メディアルームの完備」「体育館、専科の教室設備の充実」「児童数の増減に柔軟に対応できる教室」「小中学生が関わりをもてる場所」などがありました。

保護者は「防犯面の充実」が続きます。具体的な内容としては「オートロック」「防犯カメラ」「見守りのおとながいる」などがありました。

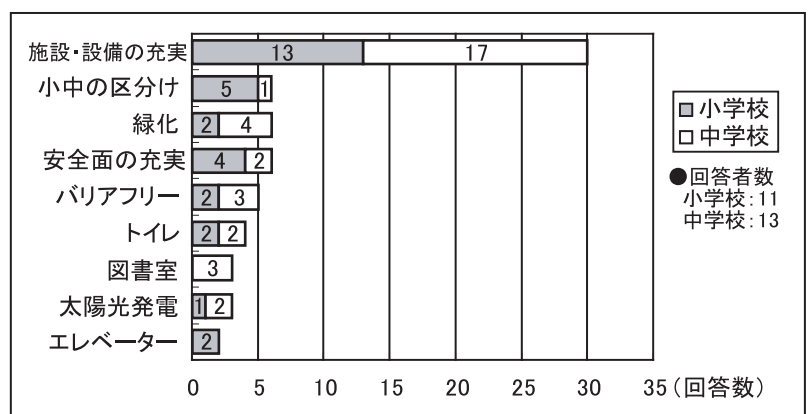
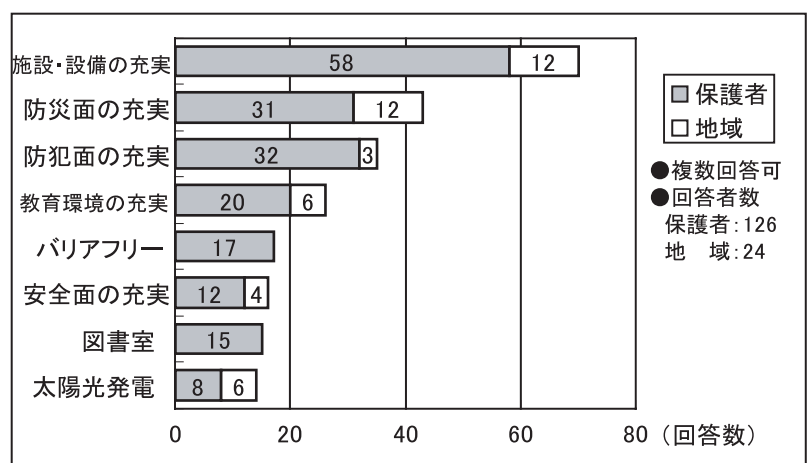
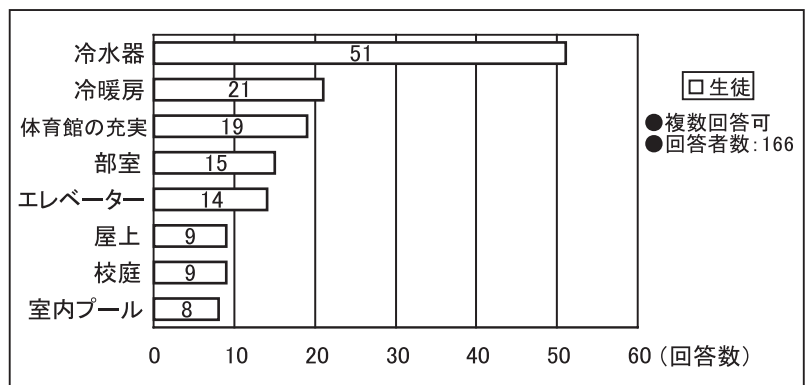
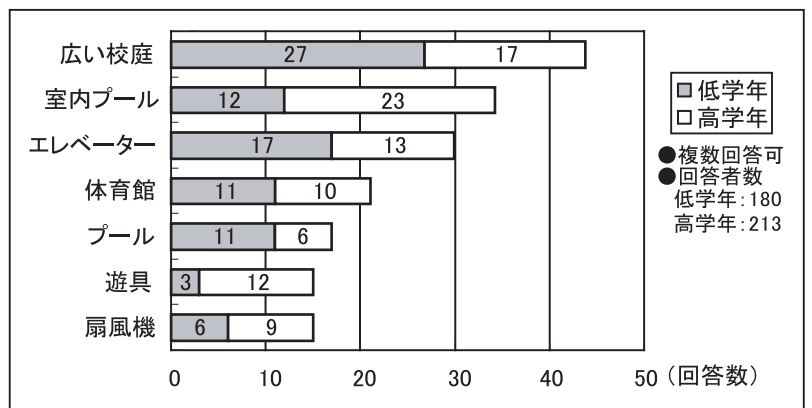
地域では「防災面の充実」が続きます。具体的な内容としては「仮設トイレ等の充実」「救援センターとしての機能の充実」「災害時の拠点としては、現状では不十分」などがありました。

●教職員（小・中学校）

小・中学校ともに、「施設・設備の充実」がもっとも多く、具体的には、「武道場」「フリースペース」「子どもたちが思い切り遊べる校庭」などがあげられました。

小学校は「小中の区分け」が続きます。具体的には「低学年の遊ぶスペースを中学生と分ける」「小・中が一緒に使える図書館」「仕切りを取ると一体化する体育館」などがありました。

中学校は「緑化」が続きます。具体的な内容としては、「校舎に沿って木を植える」「屋上庭園」「芝生化」などがありました。



自由意見から

●生徒（回収数300件）

「部屋を広くしてほしい」「太陽光発電など環境に配慮した学校にしてほしい」など新しい学校への要望が多く寄せられました（23件）。

また、「きれいな学校にしてほしい」と期待を寄せる声も多い（9件）一方で、「今のままで大丈夫」「変わるの嫌だ」という建替えをしないでほしいという反対意見（9件）や、「全部取り壊さないで階段や一つの教室でも残してほしい」や「池中の歴史や池二小、文成小の歴史を残したい」などの意見がありました（8件）。

●地域・保護者（回収数215件）

地域からは工事中の騒音や安全に配慮を求める声や（2件）、防災に関する声（2件）がありました。また、「震災などがあった時、校舎が2つあった方がよい」「公道を通して授業や部活に往復するのは危険」という反対意見もありました（4件）。

保護者からは、小中の校舎を一体型とすることについて「意図がわからない」「小学校の嫌な人間関係をリセットしたほうが良くなる」などの反対意見がありました（4件）。また、仮校舎での運動場の広さや教室数の不足を懸念する意見や（11件）、防災に関する意見も（4件）ありました。

**ワークショップ
アンケート結果も
踏まえて...開催中!**

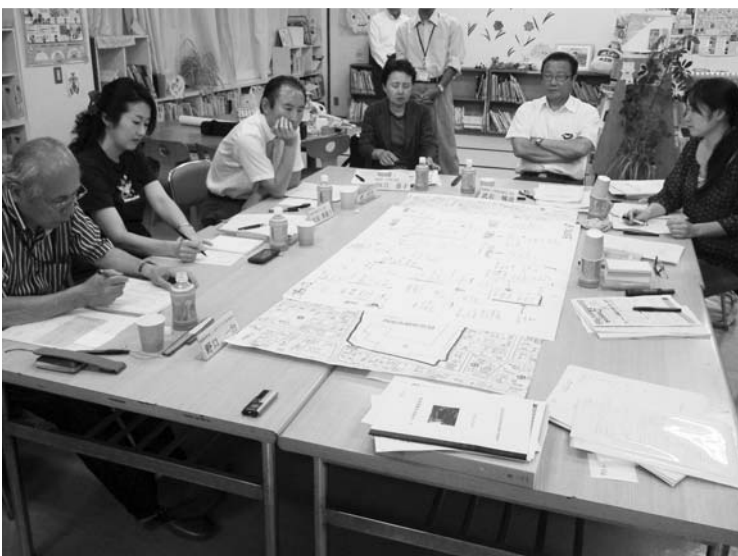
アンケート調査の結果を参考にしながら、9月から開催しているワークショップで、「地域版建設構想」を検討中です。

9月30日に開催した第一回ワークショップでは、「こんな学校にしたい!」をテーマに、一人ひとりが新しい校舎がこうなったらいいと思うことなどを自由に出し合いました。

校舎一体型連携校として、「小中学校の区別について配慮すべきこと」「小中で共有できる施設」、地域の拠点として「どのような機能が求められるか」などの視点から、活発な意見交換がなされました。

今回の意見は「地域版建設構想」のコンセプトとしてまとめ、今年12月頃を目途に作成予定の「提言書（案）」へ反映させていきます。

グループごとに話し合い、参加者から意見が次々と出されました



先進事例の見学に行ってきました！

その
1

平成23年7月10日（日）

豊島区立南池袋小学校

豊島区内の新設校である南池袋小学校では、主に新設校での施設・設備がどうなっているのを見学しました。

同校では、オープンスペースと一体となった教室に特徴がありました。

（平成16年4月開校）



オープンスペースと一体の教室



屋上の太陽光パネル

その
2

平成23年7月28日（木）

文京区立窪町小学校



オープンスペースと教室部分の間には可動式間仕切りを設置



避難誘導や子どものすべり遊び防止に配慮した階段のデザイン

同校の校舎は、関東大震災復興の一環として建てられた歴史ある旧校舎のイメージを継承するとともに、オープンスペースや防災拠点、エコスクールなど、今の時代にあった考え方にもとづく工夫を多く取り入れています。また、安全の観点から、事故防止に配慮した工夫が多く見られました。

（平成18年2月竣工）

その
3

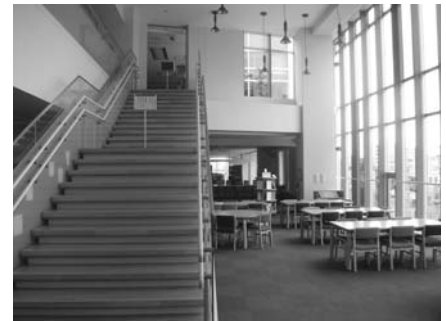
平成23年8月2日（火）

北区立王子小学校・王子桜中学校

小・中学校の一体型校舎として見学しました。同校は、教室や体育館、メディアセンターなどは、小学校と中学校をきちんとエリア分けし、ランチルーム、ホール、プールなどは共用という形で運営されています。職員室や事務室などの管理スペースは隣接し、日常的に小・中学校間の行き来が可能となっており、職員間の連携の工夫がありました。

（平成21年4月開校）

小学校・中学校の活動エリアは通常、分けられていますが建物はつながっており、交流ができるつくりになっています。



！ブログをご覧ください！



かみいけ ♥ いけほん つながり隊

～安全・安心・まちづくり～

<http://blog.livedoor.jp/kitaiekyougikai/>